

令和5年度学校経営の重点

「夢の実現 加古川北 ～輝く未来を生きるために～」

1 学校経営の重点

(1) スクール・ミッション

「克己自律 質実剛健 友愛協調」の理念のもと、思いやりの心と規範意識をもち、国際的視野から思考・判断する力を備え、主体的に人生を切り拓き、生涯にわたって挑戦し続けることのできる人材を育成する。

(2) スクール・ポリシー（三つの方針）

ア 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ① 主体的に人生を切り拓き、生涯にわたって夢や志の実現に向けて挑戦する生徒を育成する。
- ② めまぐるしく変化する社会において、自ら考え、判断し、行動できる豊かな個性を育成する。
- ③ 国際的視野で思考・判断し、世界に雄飛する人材を育成する。

イ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 習熟度別指導・少人数指導により、確かな学力を身につけ、進路希望の実現を図る。
- ② ICTを効果的に活用し、わかる喜びを大切にしながらきめ細かな指導に取り組む。
- ③ 外国語を用いたふれあいや対話等、語学チャレンジ精神に取り組む。
- ④ 生徒の実態に応じた到達目標を設け、学力向上と個性の伸長を図る。
- ⑤ 進路実現のため専門学科で実施される科目を、少人数指導で取り組む。

ウ 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 自ら学ぶ意欲や態度を培い、能力の開発・深化に取り組む生徒を募集する。
- ② 思いやりのあるこころ豊かな人間性の育成に努める生徒を募集する。
- ③ 将来の進路実現を自分の意志と責任をもって行動できる生徒を募集する。

2 具現化に向けて

(1) 普通科単位制

ア 自分の夢をかなえる講座の選択

生徒一人一人の進路に応じて様々な選択科目が用意されていること

イ 明確なビジョンの育成

科目を選択するという逆算的な構図が持てるよう指導する

自発的に行動するのが苦手、周りの意見に流されやすい生徒には少し不向き？

(2) チームで対応「チーム加古北」

ア 組織力の強化・・・コミュニケーションと合意形成

イ 自校の特性とメリット・デメリット

ウ 短期・長期の計画

「結果的には良かった。」→悪かったらどうするの。（計画が不十分）

「時間がないから出来ない。」→やらなくても大丈夫？（長期的計画が不十分） etc

エ 過年度、他校との異なりについて再度見つけ、何故そうしているか等の理由を考え、よりよい方法をとる。 Best △ more better ◎

×「昨年度は、過去は、本校では〇〇していた。」

→〇「本校では、△△の理由から〇〇していた。本年度も〇することは△に良い結果につながる。」

×「他校では〇〇しているから、〇〇しているが・・・。」

→〇「他校では、〇〇している結果、△△の成果が出ている。本校も同様に成果が見込める。」

○「他校では、〇〇している結果、△△の成果が出ているが、本校には□□のことから成果は見込めない。」 etc

エ 学校・家庭・地域との連携を見つめ直し、適切な関係作りを行う。

- ・三者面談の実施
- ・生徒個々の進路、支援内容、生徒指導案件 etc
- ・家庭児童相談所、警察、子育て支援課等加古川市行政 * 専門家の知恵 etc